



令和7年度 栃木県こどもモニター

第4回アンケート結果

(高校生～22歳)

# 調査実施の概要

## 1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

## 2. 第4回アンケート期間

令和8年1月8日（木曜日）から2月2日（月曜日）

## 3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

## 4. モニター数

182名

## 5. 第4回アンケート回答者数

94名

## 6. 第4回アンケート回答率

51.6%

## 7. 第4回アンケート実施におけるテーマ

テーマ1：水の災害に関することについて

テーマ2：性別によるアンコンシャスバイアスについて

テーマ3：プレコンセプションケアについて

テーマ4：こどもモニター満足度について

※ 「その他」の自由記述回答については、こども家庭庁「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」に基づき、こども・若者にとって読みやすく伝わりやすいものとするため、内容を整理して掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男性	78	35	37.2%	44.9%
女性	102	59	62.8%	57.8%
その他	2	0	0.0%	0.0%
合計	182	94	-	51.6%

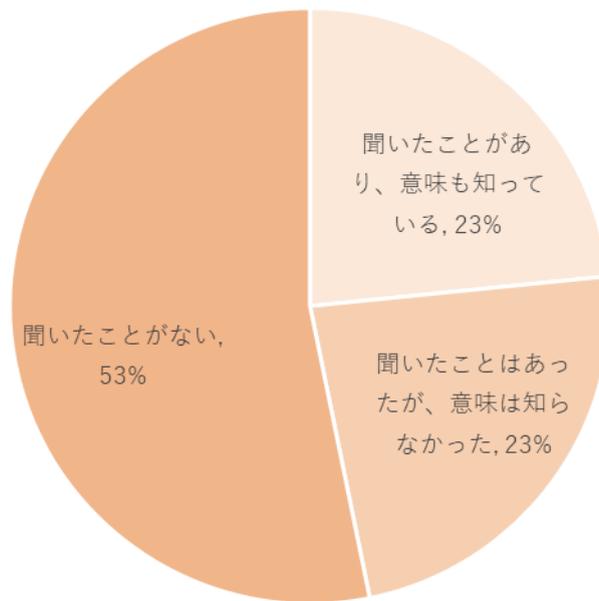
学年	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
高校1年生	28	19	20.2%	67.9%
高校2年生	27	17	18.1%	63.0%
高校3年生	16	12	12.8%	75.0%
16才	3	1	1.1%	33.3%
17才	2	1	1.1%	50.0%
18才	17	12	12.8%	70.6%
19才	23	14	14.9%	60.9%
20才	32	9	9.6%	28.1%
21才	25	6	6.4%	24.0%
22才	9	3	3.2%	33.3%
合計	182	94	-	51.6%

- ※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したものになります。そのため、合計が100.0%にならないものがあります。
- ※ 各アンケート結果の数値は、見やすさを重視し割合は小数点以下を四捨五入して整数で表示しています。

## テーマ1

水の災害に関することについて

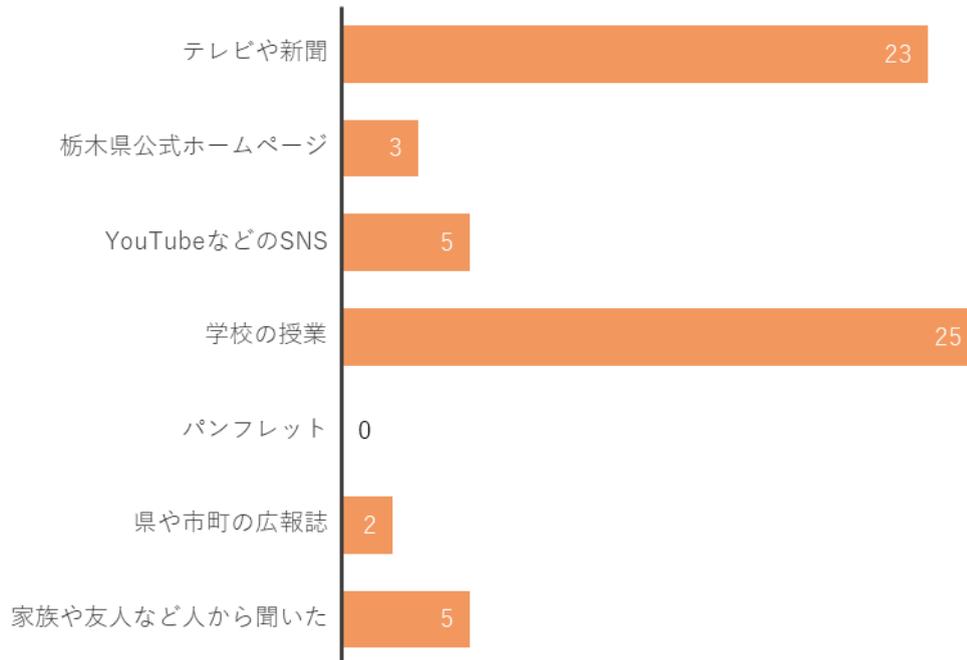
Q1.近年、台風や大雨による災害が増えています。川やダムを管理する人たちだけでなく、流域（りゅういき）に住む全員で、水による災害を減らす取組を「流域治水（りゅういきちすい）」といいます。この言葉を聞いたことがありますか。 ※「流域」とは、降った雨が小さな水路や川を通じて、大きな川に集まる範囲のこと。



【調査結果の概要】

「聞いたことがない」(53%)が最も多く、以下、「聞いたことがあり、意味も知っている」(23%)、「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」(23%)と続いている。

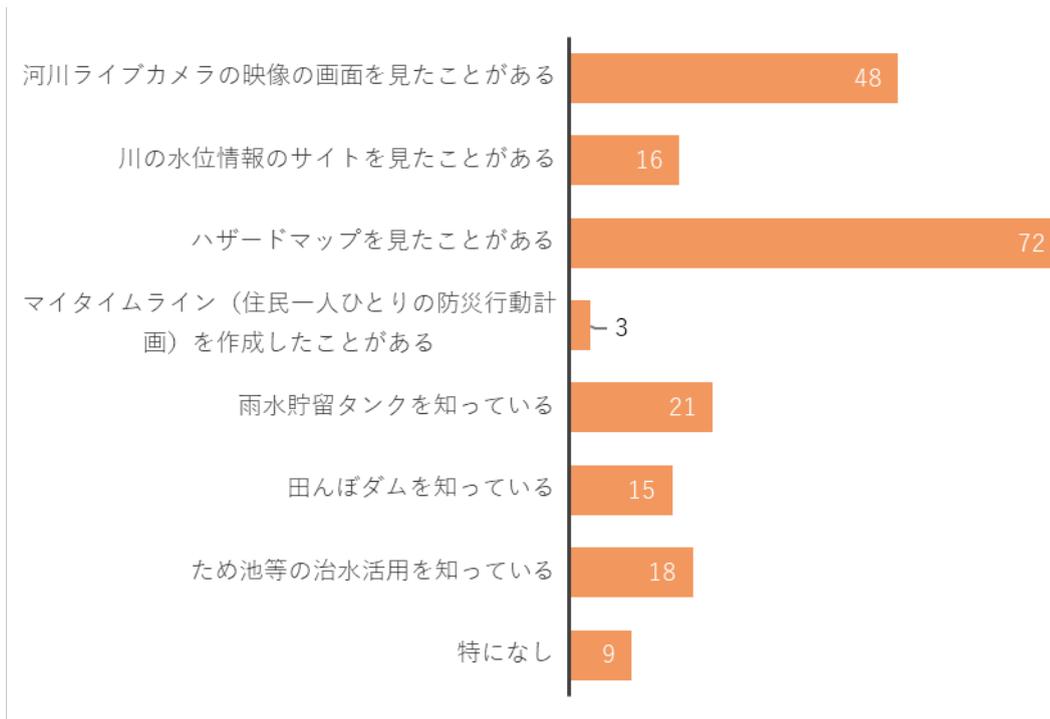
Q2.「Q1」で、「聞いたことがあり、意味も知っている」または「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」と回答した方にお聞きします。なにで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「学校の授業」(25件)が最も多く、以下、「テレビや新聞」(23件)、「YouTubeなどのSNS」(5件)、「家族や友人など人から聞いた」(5件)などと続いている。

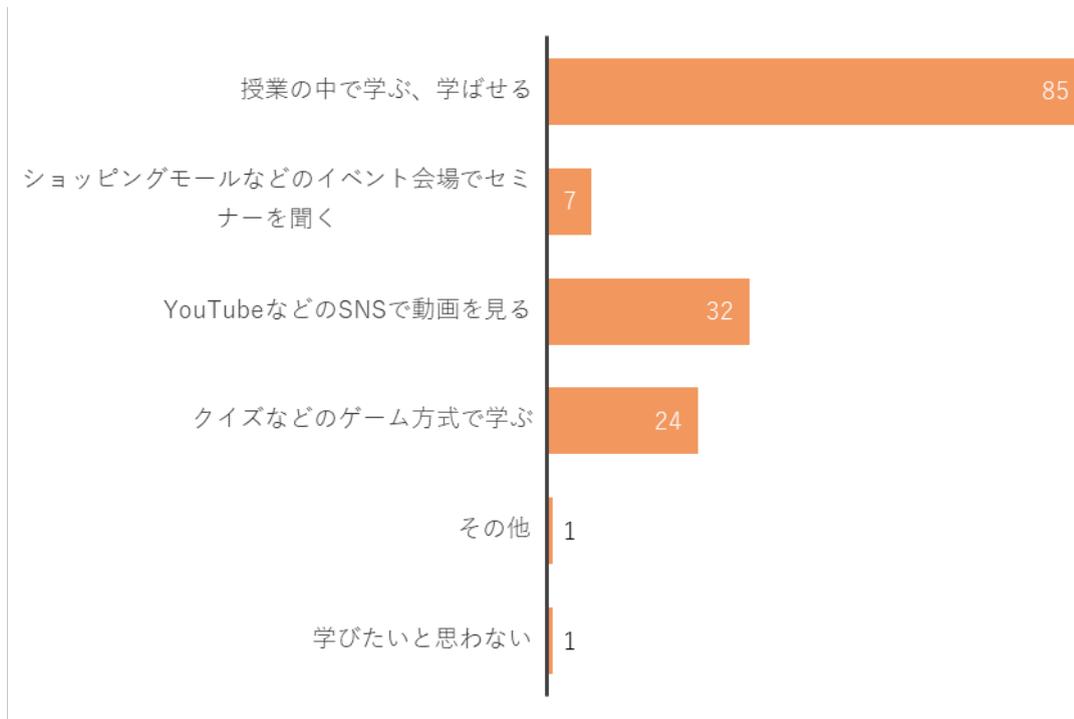
**Q3.河川や防災に関する情報の活用についてお聞きします。あなた自身にあてはまるものはありますか。【いくつでも選んでください】**



**【調査結果の概要】**

「ハザードマップを見たことがある」(72件)が最も多く、以下、「河川ライブカメラの映像の画面を見たことがある」(48件)、「雨水貯留タンクを知っている」(21件)などと続いている。

**Q4.どんな方法であれば、流域治水について学ぶきっかけになりますか。【いくつでも選んでください】**



**【調査結果の概要】**

「授業の中で学ぶ、学ばせる」(85件)が最も多く、以下、「YouTubeなどのSNSで動画を見る」(32件)、「クイズなどのゲーム方式で学ぶ」(24件)などと続いている。

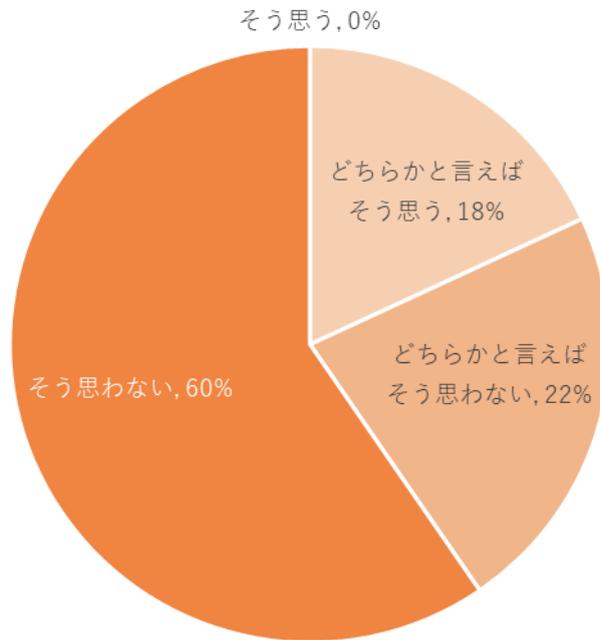
**【その他の自由記述】**

- 流域治水に関する場所のスタンプラリーや流域治水を紹介するクイズイベント。参加するとちまるくんのグッズや栃木県の特産品が貰えるようにする。

## テーマ2

性別によるアンコンシャスバイアスについて

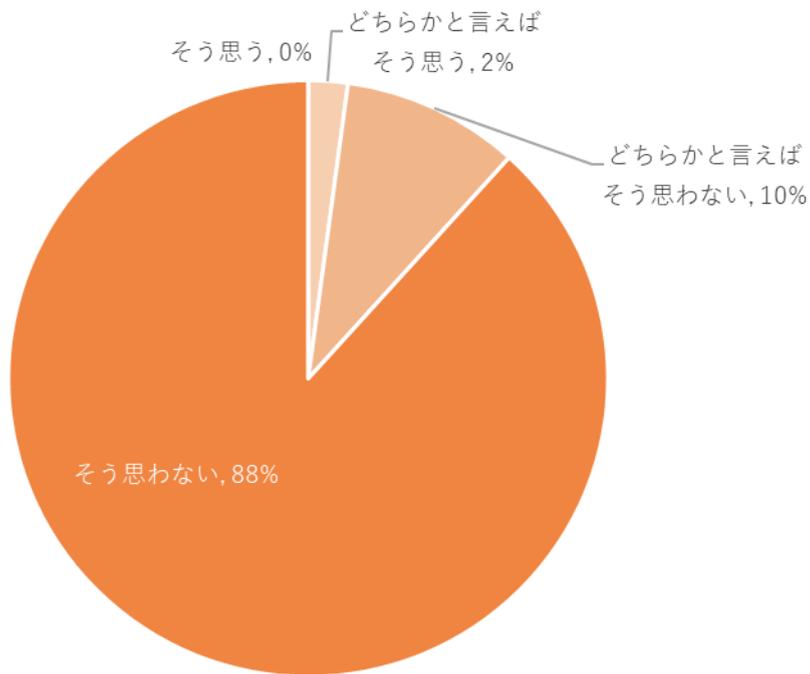
## Q5.家事・育児は女性がすべきだと思いますか。



### 【調査結果の概要】

「そう思わない」(60%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(22%)、「どちらかと言えばそう思う」(18%)と続いている。

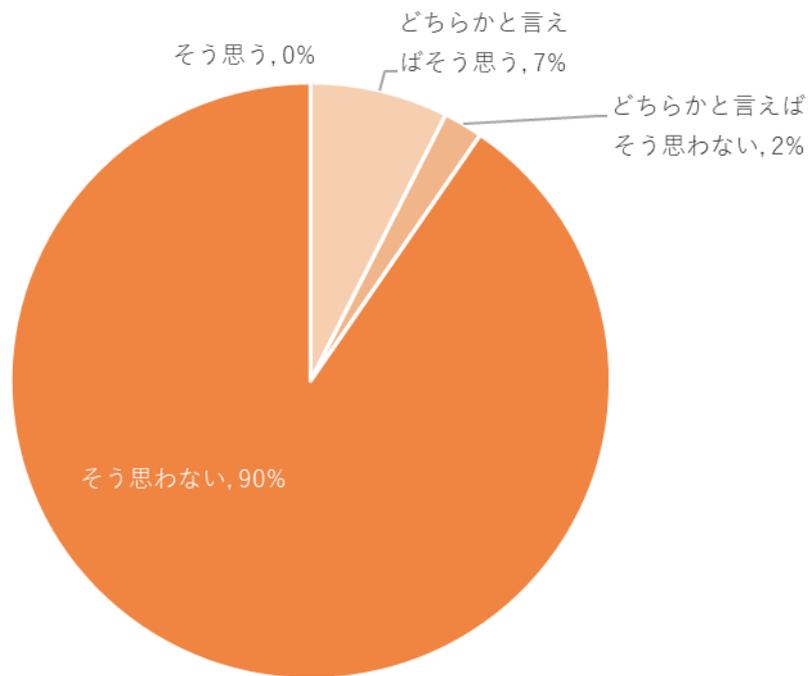
## Q6.女性に理系の進路（学校・職業）は向いていないと思いますか。



### 【調査結果の概要】

「そう思わない」(88%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(10%)、「どちらかと言えばそう思う」(2%)などと続いている。

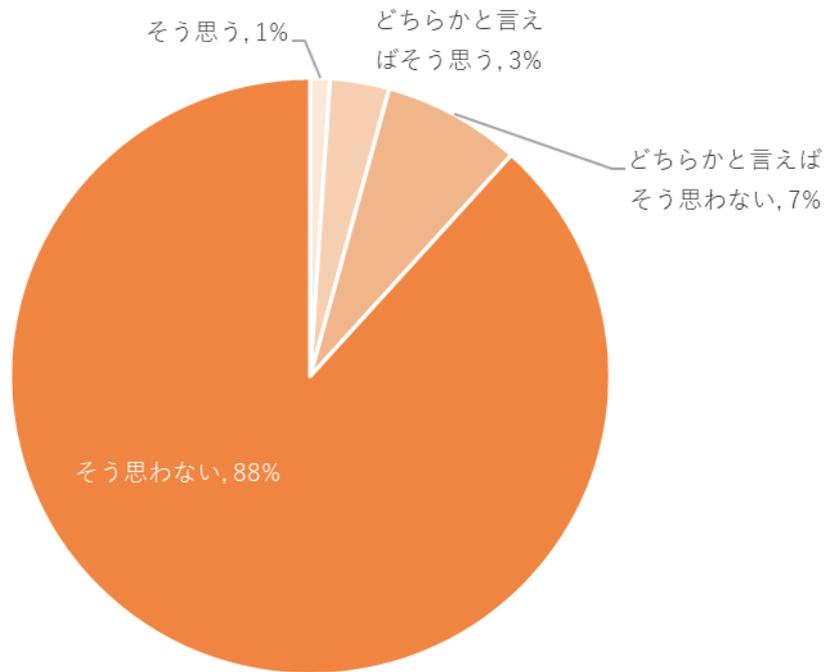
Q7.学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いていると思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(90%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思う」(7%)、「どちらかと言えばそう思わない」(2%)と続いている。

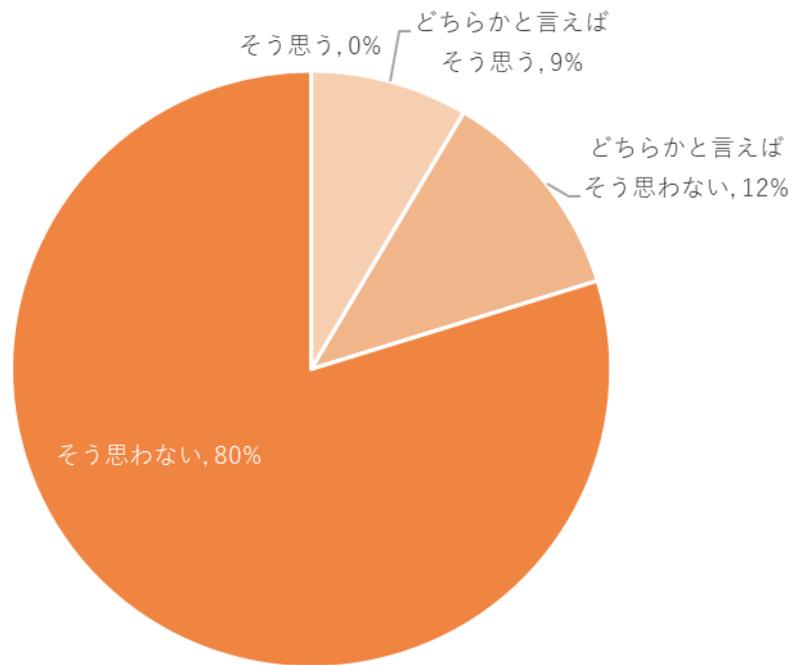
## Q8.男性は出産休暇／育児休業を取るべきではないと思いますか。



### 【調査結果の概要】

「そう思わない」(88%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(7%)、「どちらかと言えばそう思う」(3%)などと続いている。

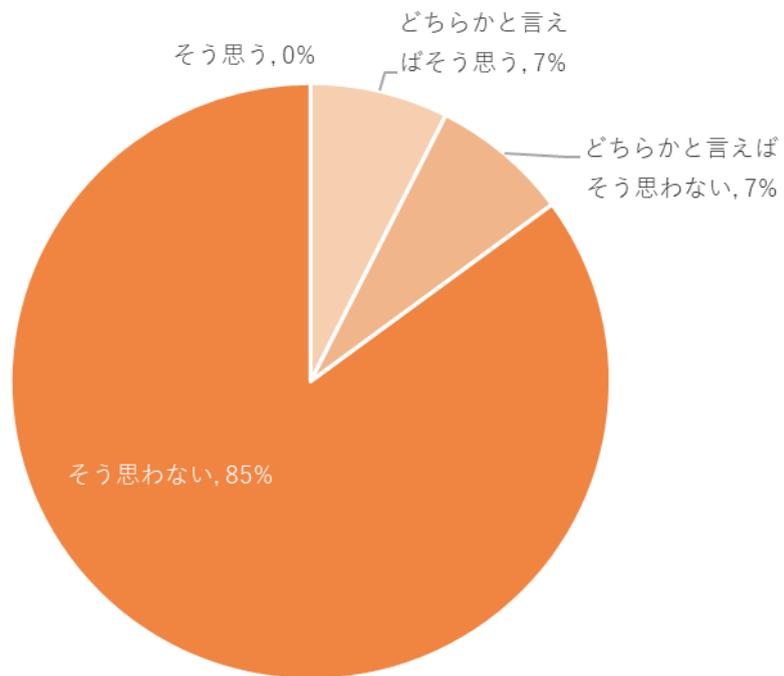
## Q9.職場のリーダーは男性が向いていると思いますか。



### 【調査結果の概要】

「そう思わない」(80%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(12%)、「どちらかと言えばそう思う」(9%)と続いている。

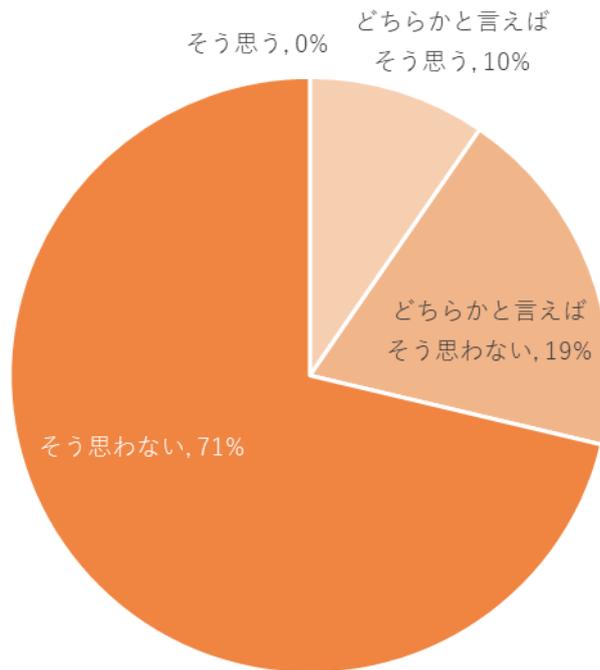
Q10.男性が夜遅くまで仕事をしたり、休みの日も仕事へ行くのは当たり前だと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(85%)が最も多く、以下、「どちらかといえばそう思わない」(7%)、「どちらかといえばそう思う」(7%)と続いている。

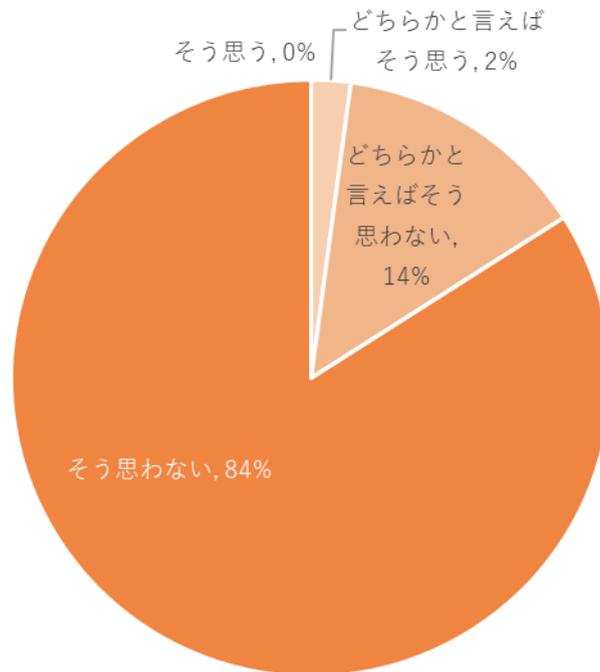
Q11.共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(71%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(19%)、「どちらかと言えばそう思う」(10%)と続いている。

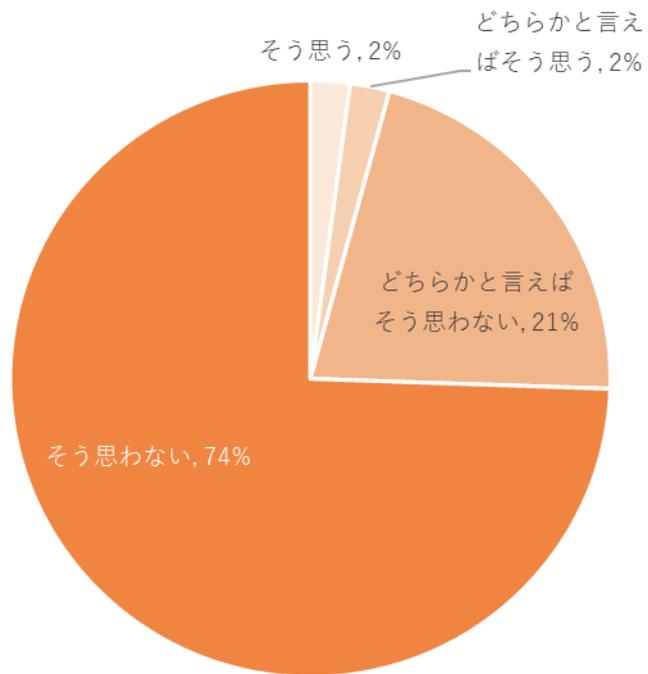
Q12.職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(84%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(14%)、「どちらかと言えばそう思う」(2%)と続いている。

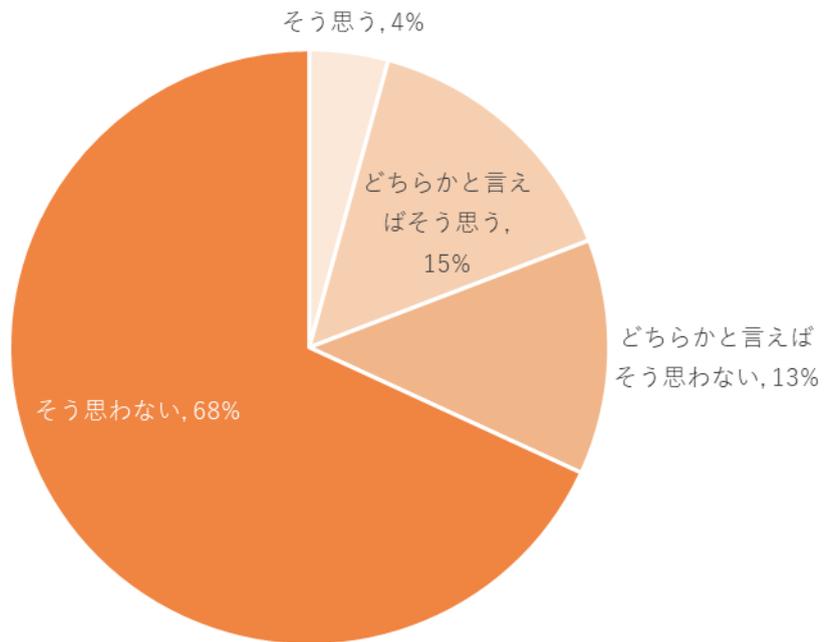
### Q13.女性は結婚して家庭に入る方が良いと思いますか。



#### 【調査結果の概要】

「そう思わない」(74%)が最も多く、以下、「どちらかといえばそう思わない」(21%)、「どちらかといえばそう思う」(2%)、「そう思う」(2%)と続いている。

## Q14.P T Aには、女性が参加するべきだと思いますか。



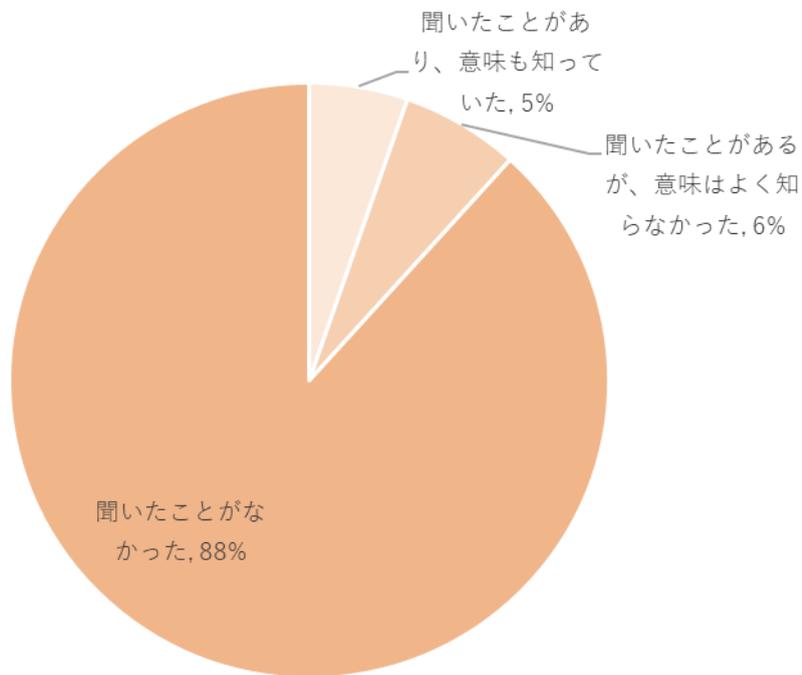
### 【調査結果の概要】

「そう思わない」(68%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思う」(15%)、「どちらかと言えばそう思わない」(13%)などと続いている。

## テーマ3

### プレコンセプションケアについて

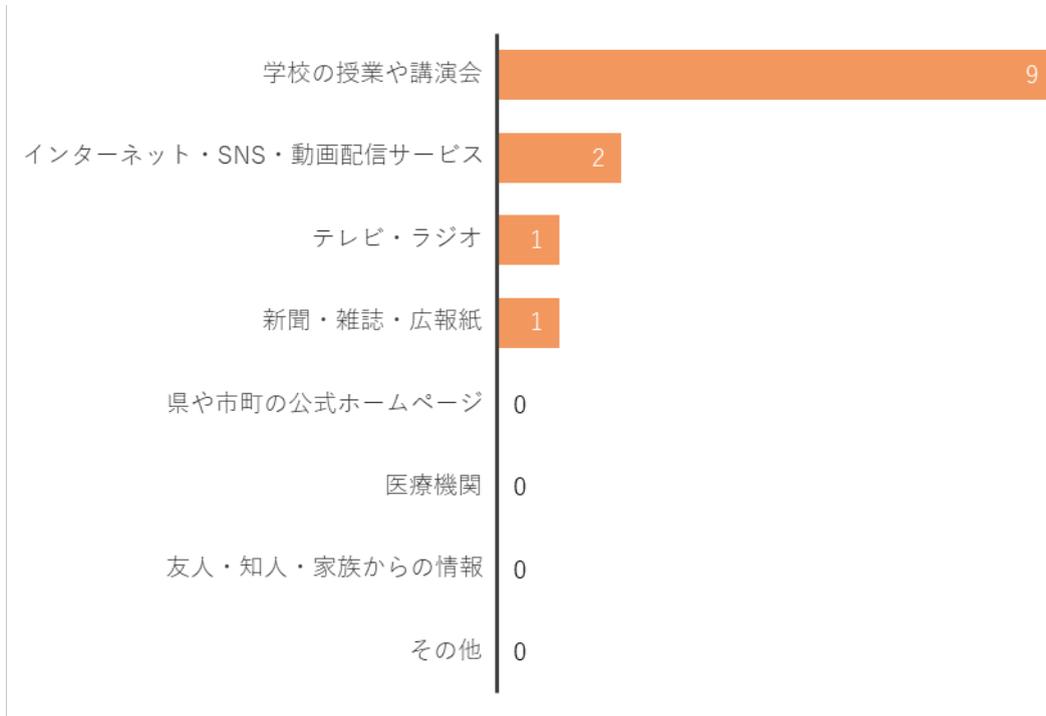
Q15.プレコンセプションケアは、「性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理」を行うことです。これまでに、「プレコンセプションケア」という言葉を聞いたことがありますか。



**【調査結果の概要】**

「聞いたことがなかった」(88%)が最も多く、以下、「聞いたことがあるが、意味はよく知らなかった」(6%)、「聞いたことがあり、意味も知っていた」(5%)と続いている。

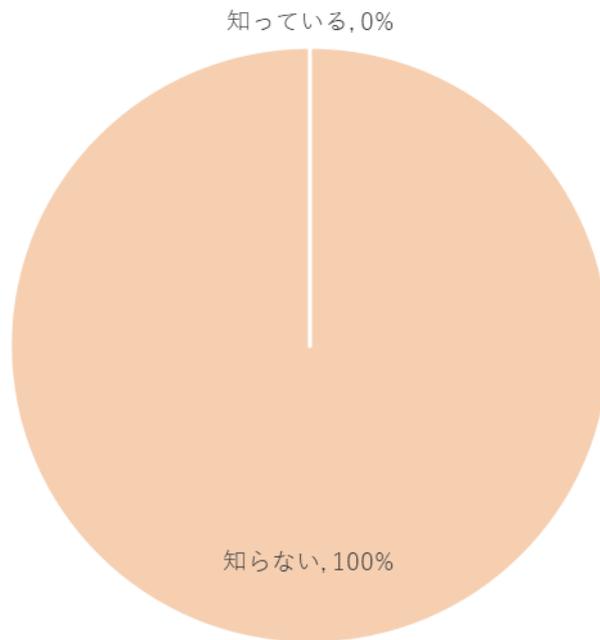
Q15-1.「Q15」で、「聞いたことがあり、意味も知っていた」と答えられた方にお聞きします。「プレコンセプションケア」について、どこで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「学校の授業や講演会」(9件)が最も多く、以下、「インターネット・SNS・動画配信サービス」(2件)、「テレビ・ラジオ」(1件)、「新聞・雑誌・広報紙」(1件)と続いている。

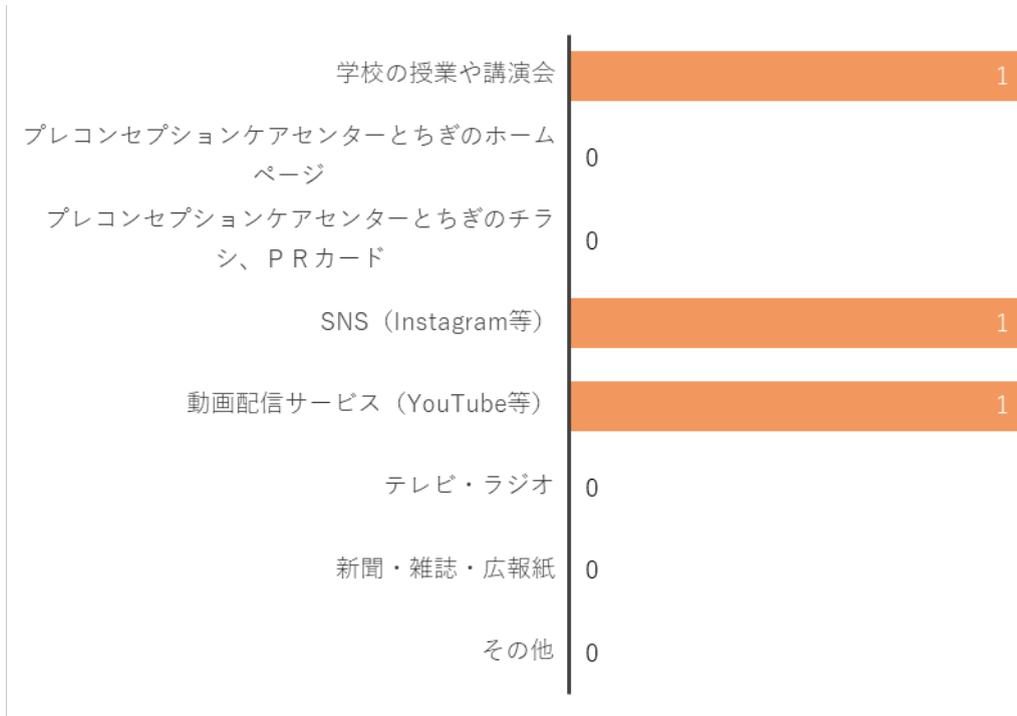
Q16.令和7年9月に開設した「プレコンセプションケアセンターとちぎ」を知っていますか。



**【調査結果の概要】**

「知らない」(100%)となっている。

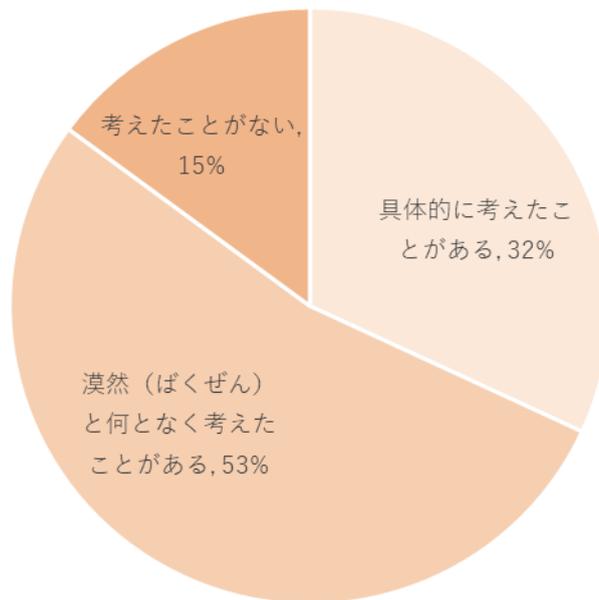
Q16-1.「Q16」で、「知っている」と回答した方にお聞きします。「プレコンセプションケアセンターとちぎ」について、どこで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「学校の授業や講演会」(1件)、「SNS(Instagram等)」(1件)、「動画配信サービス(YouTube等)」(1件)となっている。

Q17.ライフデザイン（将来設計）とは、進学・就職・結婚・子育てなど、自分の人生の計画を考えることです。あなたは、これまで自分のライフデザイン（将来設計）について考えたことはありますか。



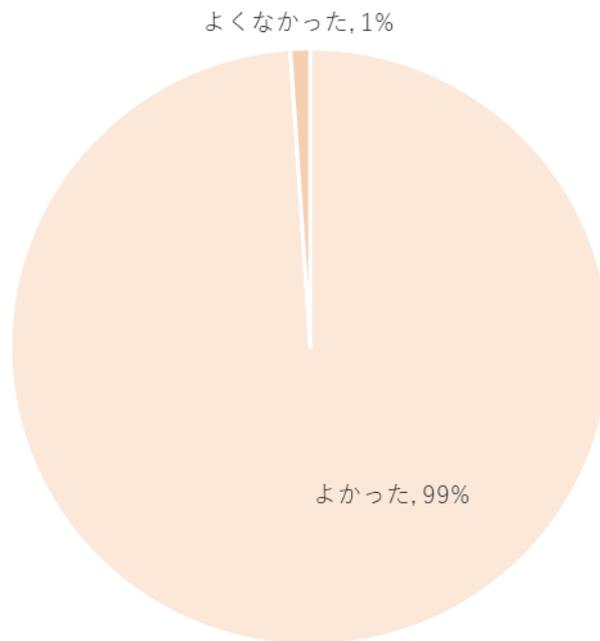
**【調査結果の概要】**

「漠然（ばくぜん）と何となく考えたことがある」(53%)が最も多く、以下、「具体的に考えたことがある」(32%)、「考えたことがない」(15%)と続いている。

## テーマ 4

### こどもモニター満足度について

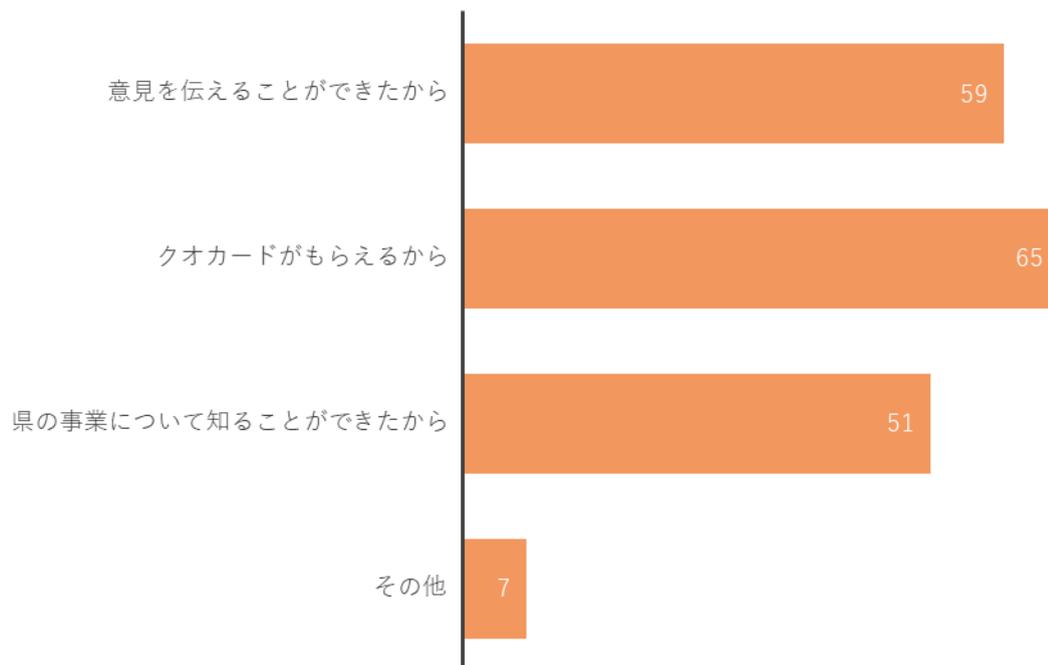
Q18.こどもモニターに参加して良かったと思いますか。



【調査結果の概要】

「よかった」(99%)が「よくなかった」(1%)を大幅に上回る結果となった。

Q18-1.「Q18」で、「よかった」と回答した方にお聞きします。それはなぜですか。【いくつでも選んでください。】



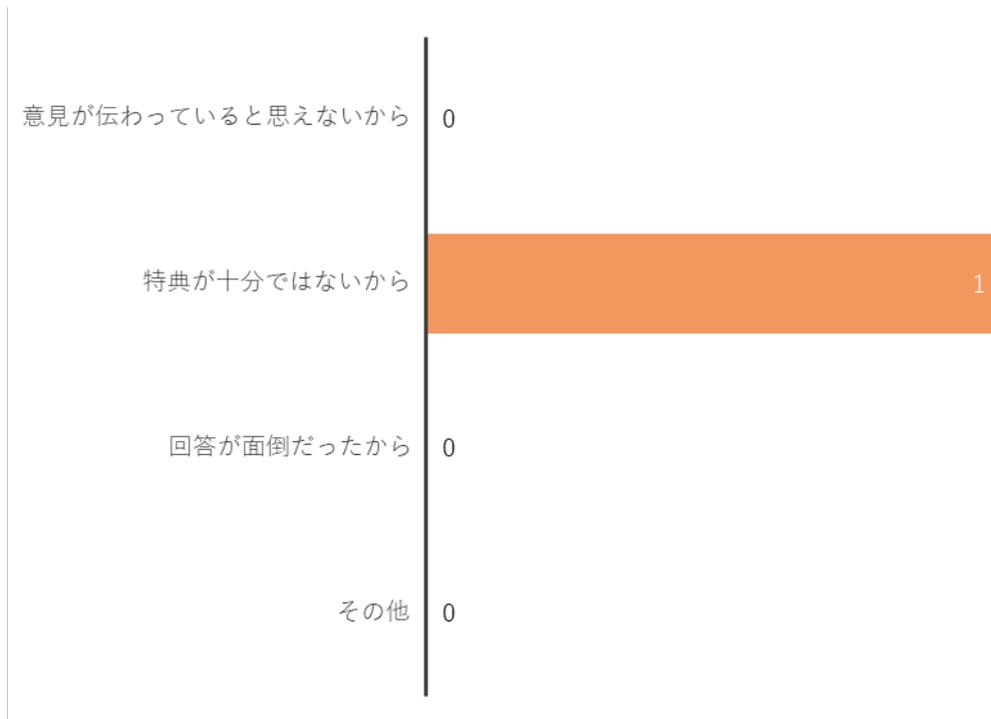
#### 【調査結果の概要】

「クオカードがもらえるから」(65件)が最も多く、以下、「意見を伝えることができたから」(59件)、「県の事業について知ることができたから」(51件)などと続いている。

#### 【その他の自由記述】

- ・ 知らなかったことを知れ、自分や社会について考えるきっかけにできたから。
- ・ 県の未来や課題の解決方法について、主体的に考えるきっかけになったから。他の人の回答を読んで、自分の視野が広がったと感じたから。

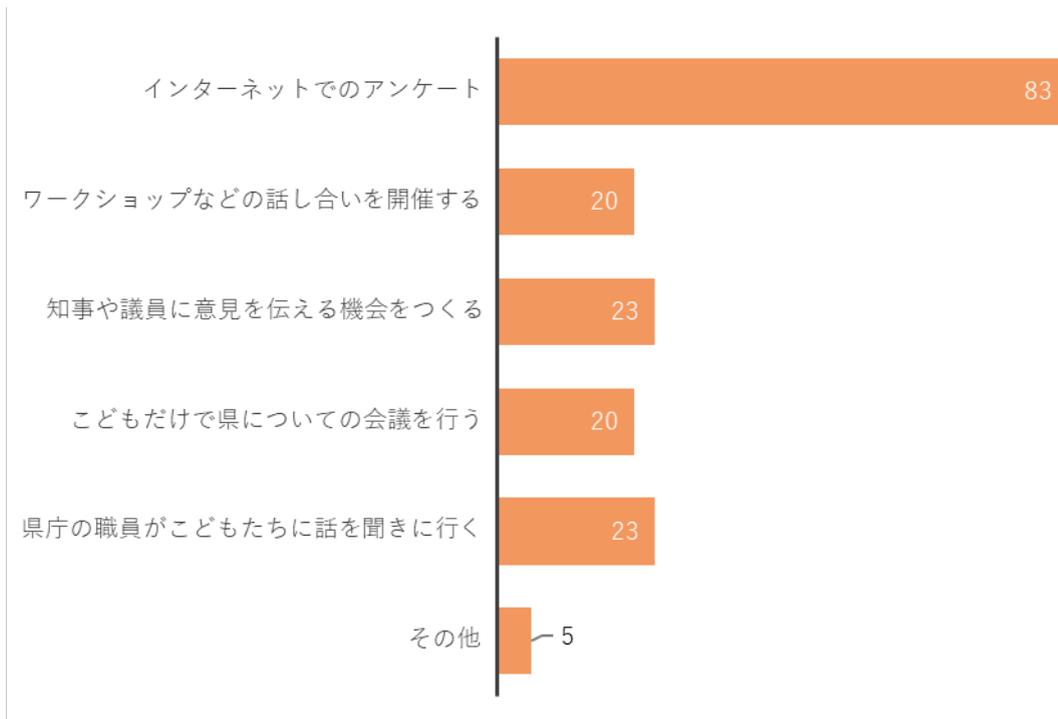
Q18-3. 「Q18」で、「よくなかった」と回答した方にお聞きします。それはなぜですか。【いくつかでも選んでください。】



**【調査結果の概要】**

「特典が十分ではないから」(1件)という結果となっている。

**Q19.子ども、若者、保護者から意見を聞く方法として、よいと思うものはどれですか。【3つまで選んでください。】**



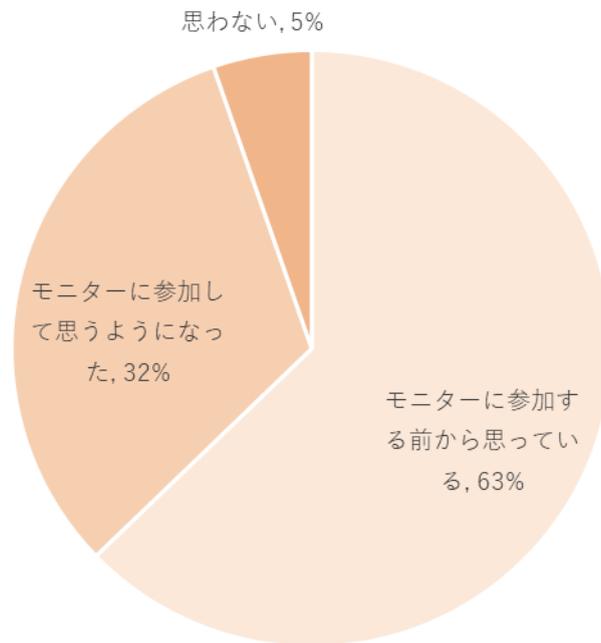
**【調査結果の概要】**

「インターネットでのアンケート」(83件)が最も多く、以下、「知事や議員に意見を伝える機会をつくる」(23件)、「県庁の職員が子どもたちに話を聞きに行く」(23件)などと続いている。

**【その他の自由記述】**

- ・ 街角アンケート意見箱
- ・ 県の政策や新しい施設、課題などについて紹介する動画を投稿して、コメント欄を開放して自由にコメントしてもらおう。スーパーやショッピングモールでアンケートに参加すると特典(その店で使えるクーポン)がもらえるイベントを開催する。

## Q20. 「自分が社会の一員である」と思いますか。



### 【調査結果の概要】

「モニターに参加する前から思っている」(63%)が最も多く、以下、「モニターに参加して思うようになった」(32%)、「思わない」(5%)と続いている。